

突然の大雨 集中豪雨に備えよう!

集中豪雨って何?

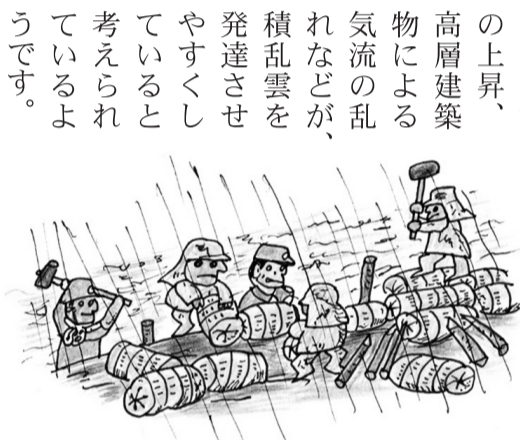
梅雨から夏、初秋にかけての時期は前線や気圧の影響で集中豪雨が起りやすくなっており、毎年全国各地で家屋への浸水、河川の氾濫、土砂災害等の被害が後を絶ちません。限られた地域に対して短時間に多量の雨が降ることを集中豪雨と言い、別名「ゲリラ豪雨」とも呼ばれています。気象学的に明確な定義はないようですが、目安として直径数十キロメートルの範囲に時間雨量50ミリを超える場合とされています。また台風などと異なり、予測が困難なことが、多くの被害を生じさせる原因であるとも言われています。



原因は?

集中豪雨の原因のほとんどが前線の通過・接近によるもの、「大気的不安定」などにより発達した積乱雲によるものです。「大気的不安定」とは、地表が日射で温まっている時に、上空に寒気が流れ込むことで上昇気流が発達しやすくなり、積乱雲の発生・発達を促して豪雨となりやすい状態のことを言います。さらにこの時期は、大雨になる要素がいくつも重なることがあり、1時間に100ミリ近い記録的

大雨を長時間引き起こすこともあります。また、都市部においては、ヒートアイランド現象による気温の上昇、高層建築物による気流の乱れなどが、積乱雲を発達させやすくしていると考えられています。



日頃から準備を!

集中豪雨が起きた際、素早く対応するためには日頃からの準備が重要です。消防局をはじめとする防災機関は、このような災害に対するため準備をしますが、みなさんも自らの身を自ら守るため、普段から次のようなことに心がけ、準備・確認をしましょう。

- 1 住んでいる地域で過去に水害、土砂災害があったかどうか確認しましょう。
- 2 いざという時の避難場所、避難経路の確認をしましょう。
- 3 非常時に持ち出す荷物の準備をしておきましょう。
- 4 テレビやラジオにより最新の天気予報の確認、消防局テレホンガイド情報の確認をしましょう。

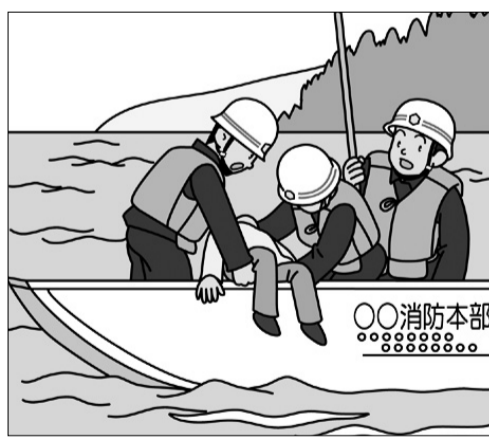
水難事故に注意!



これから気温の上昇とともに、河川に魚釣り、バーベキューやキャンプ等、川へ遊びに行く機会が増えると思います。子供たちのみならず、暑い季節の水遊びは楽しみな行事でありますが、一つ間違えると取り返しのつかない事故につながります。自然の状況は刻々と変化します。次のことに十分注意して、楽しく河川で遊んでください。

事故を防止するためには

- ・ 飲酒して河川に入ることは絶対にしてはならない。
- ・ 天気が良くても河川が増水しているときは入らない。
- ・ 上流地域での集中豪雨などによる急な増水に注意する。
- ・ 釣りをされる方はライフジャケットを身につける
- ・ 保護者は子供から目を離さない。



水難事故が発生、又は目撃したら

大声で事故が発生したことを周りの人に知らせ、すぐに119番通報をしましょう。流された人から目を離さず、どの辺りまで流されたか、どの辺りで沈んだかなど、詳しい状況を活動する隊員に伝えてください。また、自分の泳力を過信し、泳いで助けに行くことはしないで下さい。見た目以上に川の流れは変化していて、自身自身が流されてしまう二次災害につながる恐れがあります。



新型インフルエンザ についてお知らせ

新型インフルエンザ(インフルエンザA型)が世界的に流行し、国内でも多くの感染者が発生しています。新型インフルエンザは感染力が強く、人から人への二次感染で毒性がさらに増すともいわれています。そこで、市民のみなさんは、うがい、手洗い、マスクの着用や外出の自粛など、感染予防対策を日常的に行うようにしましょう。なお、症状は主に、突然の高熱、せき、鼻水、のどの痛み等があります。こういった症状が出た時やインフルエンザかもしれないと思った時は診療所に診察を受けに行く前に下記窓口までご相談ください。

・ 市川健康福祉センター(市川保健所)
(受付時間9時~17時)
047-377-1101(土日・祝日含む)

その他の電話相談窓口

- 厚生労働省(受付時間9時~21時)
03-3501-9031
- 千葉県(受付時間9時~17時)
- ・ 人への感染について
043-223-2665
043-223-2675
 - ・ 豚肉の安全について
043-223-2626
 - ・ 家畜の豚について
043-223-2938



もうすぐ夏休み 旅行先で楽しく過ごすために

夏休みも間近になり、みなさんもそろそろ予定を立てている頃ではないでしょうか。海や山へ泊りがけで出かける事も多いと思いますが、もしも宿泊先で火災や地震等の災害にあつたら、みなさんはどうしますか。普段とは違う慣れない場所であわてしてしまうことのないように次のことを心がけてください。

宿泊先に着いたら

- 必ず非常口と避難経路の確認をしましょう。
- 実際に非常口まで歩いてみましょう。

寝る前に

- たばこの火の消し忘れに注意しましょう。寝たばこは絶対に禁止です。
- いざという時に持ち出せるように貴重品はまとめておきましょう。



もしも災害が起きたら

- 係員の指示に従い、落ち着いて行動しましょう。
- エレベーターは使わないこと。火災の熱や地震の影響で止まってしまうことがあります。
- 火災により避難するときは濡らしたタオルなどを口にあて、姿勢を低くして進みましょう。

大丈夫ですか？ お出かけ前に再度確認を！



また、家を出るときは火の元の確認をお願いします。

最後にこれだけは確認を

火災、地震以外の事故もありますので、宿泊先や外出先では携帯電話が使用できるか事前の確認をお願いいたします。なお、大きな災害時に備えて安否の確認方法を家族で話し合っておきましょう。

地震が起きたときは身の安全確保を第一にし、揺れがおさまってから避難しましょう。



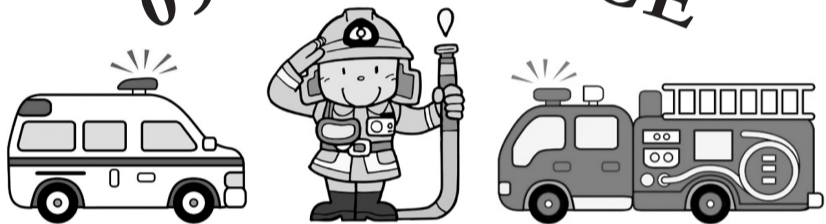
消火協力者に感謝状

3月19日14時頃、真間二目で発生した建物火災を、古澤克之さん、山口和彦さん、中村立史さんの3名が早期に発見し迅速的確な初期消火活動を実施して火災の拡大を防止しました。その功績に感謝の意を表し、佐瀬市川市西消防署長より感謝状が授与されました。



古澤克之さん(右)と西消防署長

09' NEW FACE



消防局では、平成21年度に7名の職員を採用しました。現在、2人の職員が千葉県消防学校で6ヶ月間の厳しい訓練を受けています。また、すでに所属に配属されている5名の職員も日夜消防業務に取り組み、一生懸命頑張っています。ここで7人のNEWFACE達の意気込みを紹介します。

東消防署 高橋 祐介

あらゆる災害から市民の命を守り、創意工夫を凝らして仕事を頑張りたいです。

南消防署 丸山 和郎

一人でも多くの人を救う為に消防士になりました。ラクロス仕込みの体力を活かします。

東消防署 高橋 一樹

学生気分は一新し、新たな心構えで職務に励みます。ご指導よろしくお願いします。

南消防署 中村 拓朗

常に緊張感を持ち、全力で職務に励み市民の皆様の安全を守ります。

西消防署 金子 司

生まれ育った市川で、今度は私が市川の人達に貢献し、手本となる社会人を目指し頑張ります。

北消防署 田中 伸和

市川市の消防職員として、一生懸命に市民の皆様の安全を守っていきたく思います。

西消防署 岡村 圭佑

新人の岡村圭佑です。今年の春に高校を卒業したばかりの未熟者ですが一所懸命頑張ります。



地域の安全と安心を守る

消防団員募集中

- ◇応募資格
市内居住または市内で勤務をしている18歳以上の方
- ◇問い合わせ
警防課 市民防災担当室
☎ 333・2179(平日9時~17時)
(夜間・休日は、333・2111(代)へ)



普通救命講習会 お知らせ!!

毎月、第3日曜日に開催していた救命講習会を、平成21年7月より平日も開催することになりました。

- 受講対象者
市内在住または在学、在勤者で中学生以上の方
- 日 時
・平成21年7月12日(日) 午前9時~12時
定員60名(無料)
※申込みは、平成21年7月4日(土) 午前9時から受付を開始します
・平成21年7月15日(水) 午前9時~12時
定員30名(無料)
※申込みは、平成21年7月6日(月) 午前9時から受付を開始します
- 講習内容 普通救命講習I(3時間)
- 場 所 八幡1丁目8-1 市川市消防局5階ホール
消防局 電話 333-2111(代)



~ 命をつなぐ
関係プレー ~

